

ルナフォシル仕上げ 施工の手引き

適用品番

ジヨリパット材 JQ-650 シリーズ

ジヨリパット材ノンフリーズ JQW-650 シリーズ

【作成】平成21年11月

【改訂】平成23年11月

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー

<使用材料>

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-560	水性タイプアクリル系 1液型透明シーラー	16kg/缶	約80~106㎡/缶
	<u>ジョリパットシーラー</u> <u>JS-410</u>	<u>1液溶剤系</u> <u>アクリルゴム系シーラー</u>	<u>15kg/缶</u>	<u>約75~100㎡/缶</u>
	<u>セーフシーラー</u> <u>JS-800</u>	<u>1液水系カチオンシーラー</u>	<u>16kg/缶</u>	<u>約80~106㎡/缶</u>
主材	<u>ジョリパット材 JQ-650 シリーズ</u> <u>(ジョリパット材ノンフリーズ</u> <u>JQW-650 シリーズ)</u> <u>標準色</u> <u>JQ(W)-650T□□□□</u> <u>(□…数字)</u> <u>特注色</u> <u>JQ(W)-650△○○○</u> <u>(△…英字、○…数字)</u>	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ ペール缶	約6㎡/缶
骨材	JF-66	ミックス骨材Aタイプ	10kg/袋入り	約9㎡
	JF-67	ミックス骨材Bタイプ	21kg/袋入り	約9㎡

※使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

※ジョリパット材ノンフリーズの使用目安温度は-6℃~10℃です。水系のシーラーを使用すると凍結の恐れがありますので、ジョリパットシーラー JS-410 をご使用下さい。

※セーフシーラー JS-800 は2kg×2個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約20~25㎡/セット)

<主な施工道具>

- ・金ゴテ
- ・JR-75 (スポンジローラー) : { 9インチ替え筒2本
3インチローラー1本、
3インチ替え筒1本 } 梱包
- ・JR-76 (左官中ブラシ) : 1本/梱包
- ・JR-77 (並白糊刷毛) : 1本/梱包

※JR-75の9インチローラーには柄がついていません。

<下地調整>

標準下地は、石膏ボード(プラスターボード)又はモルタル(金ゴテ押さえ平滑)とする。

下地によっては使用できないシーラーもありますので、詳しくは弊社最寄の支店までお問い合わせください。

<ルナフォシル仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	JS-560	16kg
塗布量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1' JS-410の場合

配 合	JS-410	15kg
塗布量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1" JS-800の場合

配 合	JS-800	16kg
塗布量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

※下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。

3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

・ JQ(W)-650 を無希釈で1.0kg/m²となるよう金ゴテにて平滑に塗布する。

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 配り塗り

配 合	<u>JQ(W)-650シリーズ</u>	20kg
	JF-66	10kg
	JF-67	21kg
	清 水	3ℓ
塗布量	約6.0kg/m ²	
施工道具	金ゴテ 金ゴテにて平滑に材料を配る。	

追いかけ (5分以内)

4. 洗い出し

- ・十分に水を浸したJR-77を壁面に対して寝かせ、横方向に動かす。(図-1)
- 刷毛引きは、骨材の色が見えるまで何度も行なう。
- ※洗い流した水で床が汚れるため、新聞紙、ウエス、マスカなどで床を養生すること。(図-2)

追いかけ (5分以内 時間厳守)

5. スポンジローラー押さえ

- ・パターン付けを行なった後、滴り落ちる水をJR-75を十字に転がす事で吸い取っていく。(図-3)
- ※入隅では予め縦方向に転がした後、横方向に転がす。

5~10分後

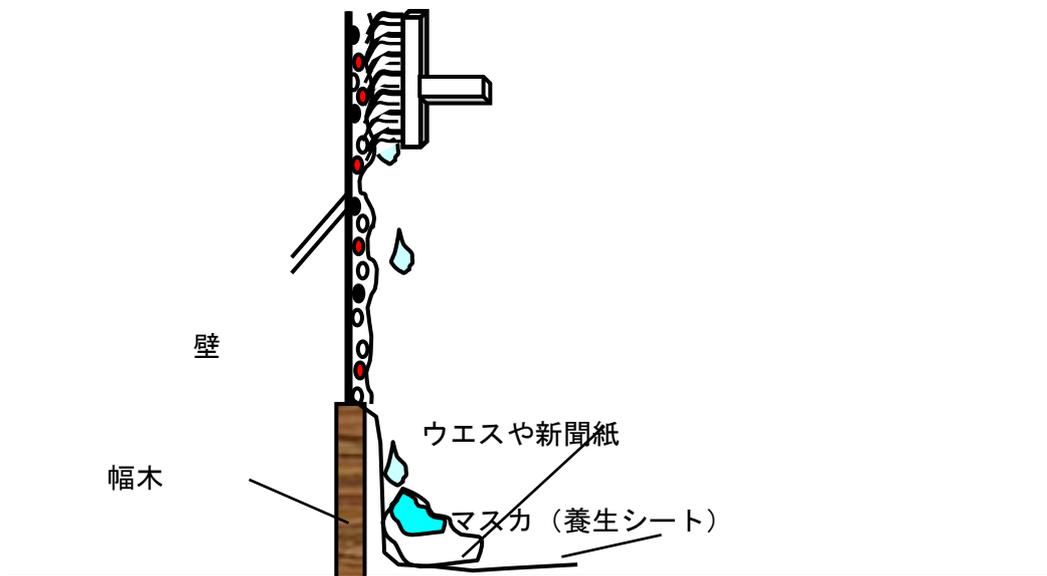
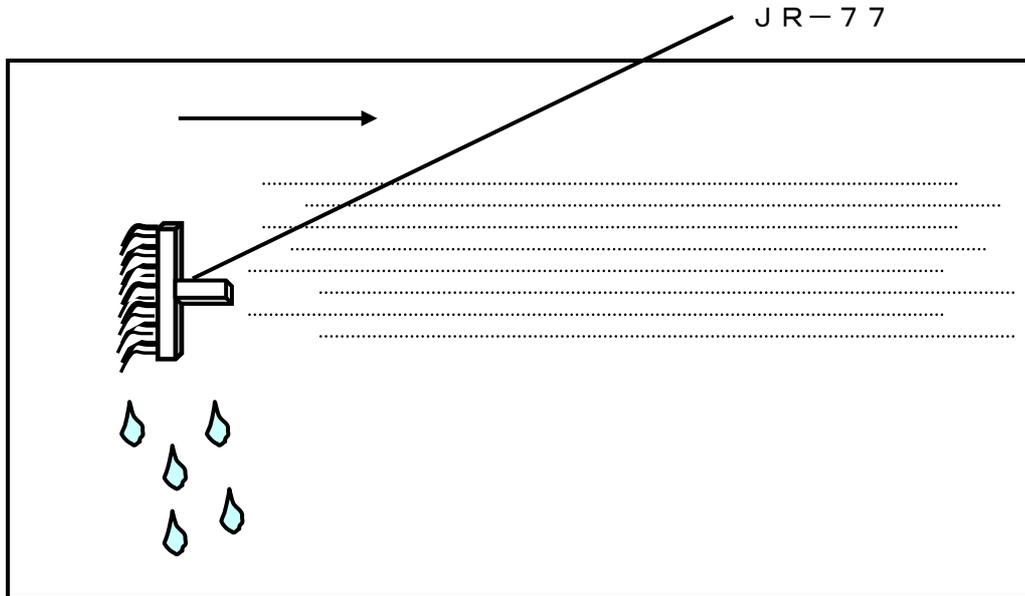
6. ブラシたたき

- ・JR-76でたたき、凹凸模様をつける。
- この時、たたきムラがでないよう注意する。(図-4)

<施工のポイント>

・洗い出しは、JR-77を十分水に浸した後JQ-650の表面を軽く削るように行なう。
この時、JR-77は壁面に対して寝かせ（図-1）パターン付けする。また刷毛は、こまめに洗う。

※大量の水で洗い流すと塗材がたれる為、注意する。



・JR-77で洗い出しをした後、JR-75を軽く十字方向に転がす。JR-75がある程度水を含んだら、きれいな水で洗い、その後、絞ってしっかり水を切る。

(JPの空き缶に水を入れておくと便利です。)

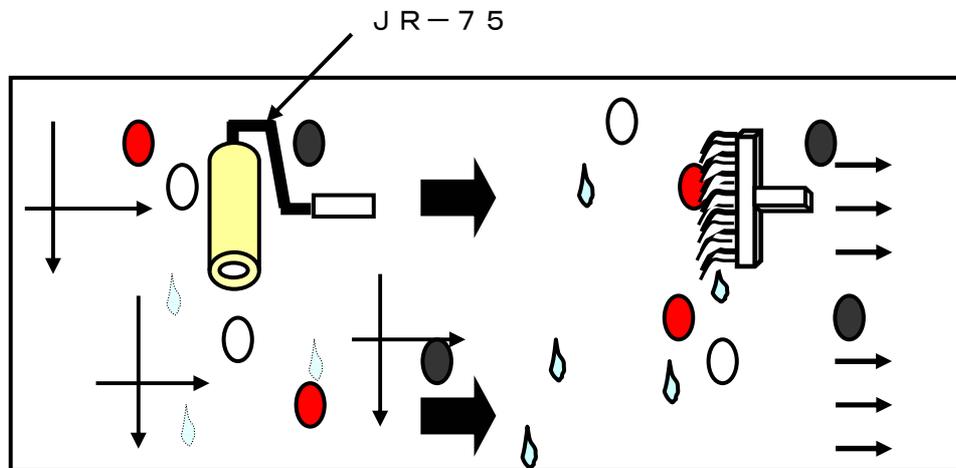
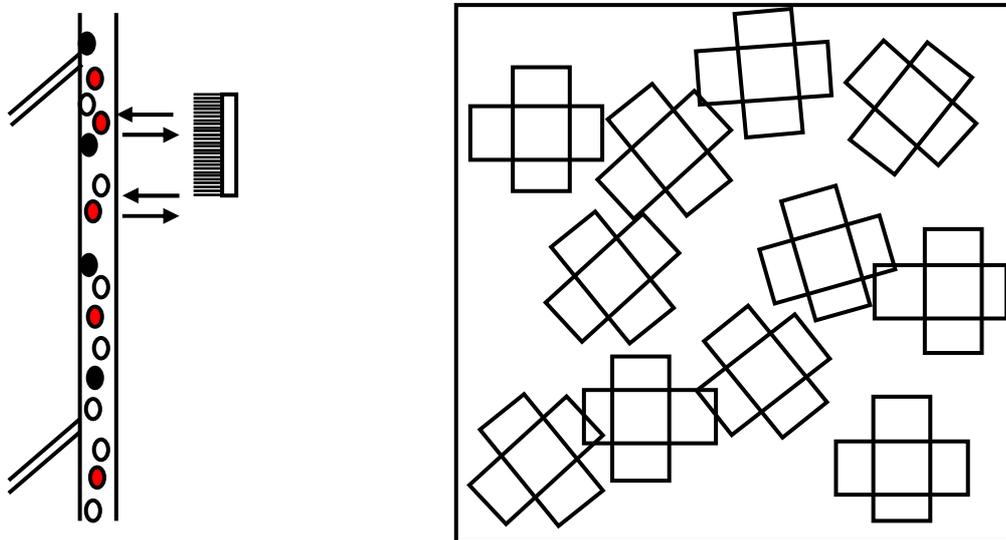


図-3

・JR-76の柄の部分はずし、全体にムラなくたたく。(図-4) スポンジローラー工程が修了後、5~10分程度、時間を空けると表面が少し乾燥し、パターン付けしやすくなる。

(パターン出し、たたきは、表面の水がひき、光沢がなくなった時を目安とします。)



全体をムラなくたたく。

図-4

<施工の注意事項>

- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。
- ・ 配り塗り1人、洗い出し+スポンジローラー1人の2人1組で施工して下さい。
- ・ 内装を施工する場合には、床が汚れないよう必ず養生して下さい。
- ・ シーラー、ジョリパットの施工の際は臭気などのトラブルを防ぐため、事前に近隣への案内等に配慮下さい。
- ・ スポンジローラーで表面に浮いた水を除去して下さい。
(きれいに除去できないと、水が垂れた跡が変色して見えます。)
- ・ 洗い出し水の処理を適切に行い、環境汚染の無いようにして下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
(特に外装の大面积を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ この仕上げは天然石を使用している為、見本と色目が異なる事があります。
- ・ コテ、ローラー、吹き付けガン等の洗浄水を河川、側溝への施流は避けて下さい。
- ・ JQ-650 を使用される場合、気温 5℃以下、湿度 80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・ 冬季の 5℃以下での施工の際は、ジョリパットノンフリーズ JQW-650 を推奨します。その際シーラーは凍結防止のため JS-410 をご使用下さい。
しかしながら、-6℃以下、降雨、降雪などの条件下では JQW-650 使用時でも硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。
- ・ 商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上